

# たはら歴史探訪クラブ

その13

## 秋葉山常夜燈 (二)

常夜燈には次のように、さまざまな文字が刻まれています。

- 一 秋葉山ないし常夜燈
- 二 建立年号
- 三 建立目的
- 四 施(願)主

通常火袋の下の中台、竿の正面に「常夜燈」「秋葉山」と彫られます。竿の右側面や後方、基礎に建立年月や目的(村中安全、組内安全)、施主名(若者中、個人名)が彫られます。これは、村や組の安全を願ったものです。

施主については、村の若者が多く、谷熊の金毘羅神社にある「谷熊村 庄屋五右衛門」のように、庄屋の名が見られます。東ヶ谷の天友寺境内にあるものには「東ヶ谷村 網元中惣若者中」とあり、漁師の若者が施主となっています。地引網漁が盛んだった表浜らしいものです。

変わった内容では、浦、白谷の常夜燈に石工の名が記されていることです。白谷にある常夜燈には「勢州河崎町 和泉屋九兵衛作」



と、浦のものには「石工 伊勢河崎 和泉屋九兵衛作」と彫られています。ともに海を隔てた伊勢市河崎の石工の作であることがわかります。通常このような石造物は岡崎周辺で作られたと思われることが、伊勢でも作られていたことは



●浦字中瀬古に所在の常夜燈 (文化2年)

驚きです。また、これらが白谷、浦という童浦校区で限定して見られることも興味深く、原始時代からつづく伊勢地方との交流がわかる資料となります。

常夜燈は、それぞれの地域の人たちが様々な思いを記した、地域の歴史の証人です。しかし時がたてば、この信仰の意味や常夜燈が建立された経緯、元の場所の記憶もなくなってしまうでしょう。ですから、我々の祖先が残してくれた貴重な文化財を大事にしたいものです。今一度、近くの常夜燈を見学してみてはいかがでしょうか。

## 今月の表紙

卒業式には、嬉しさと寂しさの入り交じった不思議なムードが流れます。卒業とは、一つのことの終わりであり、新しいことの始まりでもあるからでしょう▼映画「卒業」では、ダスティン・ホフマン演じるエリート青年ベンジャミンが、禁断の逢瀬を経験したりしながら、真実の愛に目覚める様が描かれています。ラストシーンにはみなさんご存じのとおり。ところで、この映画の中で主人公は何を卒業したのでしょうか? この映画は単純なハッピーエンドだったのでしようか?▼何かを得るためには、何かを失わなければなりません。それは時として大きな痛みを伴う場合があります。しかし、進歩するためには、去り難き場所ほど去る必要があるのかもしれない▼前途洋々。春には、やはり笑顔が似合いですね。(写真・田原福祉専門学校の卒業生)

## 【人口と世帯数】

総人口	36,829人	
男性	18,781人	
女性	18,048人	
世帯数	11,422世帯	
出生	29人	死亡 25人
転入	68人	転出 70人
増減	2人	

(平成14年3月1日現在・増減は2月中)

【行政面積】 82.86 km<sup>2</sup>

(平成11年10月1日現在・国土地理院調べ)

▽田原町博物館 ☎22局1720